

ディボーション質問表



17日(日) 先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

18日(月) エズラ記 1章

1. バビロン捕囚により、ほとんど連れて行かれ国を追われたイスラエルに再び希望が生まれました。第一次バビロン捕囚からおよそ70年後、バビロン王国は倒れ、メド・ペルシャが中東一帯を征服していました。紀元前539年頃、ペルシャの王クロスの命令により、イスラエル人達の帰還が許されます。このように未信者が信者を助ける例が聖書の中には時々見られます。あなたはどのように教会外の人々から助けられた事がありますか。神はどのようにその人を用いましたか。
2. ここには人々による、神の為の2つの働きが出てきます。それは何でしょうか。またあなたが今、神からゆだねられている働きは何でしょうか。
3. もしクロス王からの命令がなかったら、たとえ帰る事を許されたとしても、イスラエルの宮再建はどうなっていたと思いますか。

19日(火) エズラ記 2章

1. 奴隷も含め、約5万人の人々がユダの君主シェシュバツアル（ゼルバベル）とともにイスラエルに帰還します。ペルシャから自分達の国に戻る彼らにはどんな期待や不安感があったと思いますか。また、新年を迎えあなたにはどんな期待や希望がありますか。
2. この中には宮の再建と礼拝回復の為に立ち上がった人々が出てきます。特に礼拝で仕える人たちは5482人いました。この人数についてどう思いますか。また、68節で「進んでささげ物をした」という記述がありますが、あなたは今日「進んで」何をしますか。
3. 彼らはみな、「もとの町々に住みついた。」とありますが、あなたにとっての「もとの町々」は何でしょうか。

20日(水) エズラ記 3章

1. 民がイスラエルに集まり、礼拝をします。1～7節を読み、礼拝の要素についていくつか発見してみてください。
2. 年が改まり、彼らは神殿の再建工事に着工します。そしてその礎がおかれた時に、泣き声と喜びの音があがりました。この定礎式に自分が出ていたらどんな気持ちになったでしょう？

21日(木) エズラ記 4章

1. イスラエルの希望であった神殿再建が始まった、その時反対勢力の妨害も始まりました。彼らはまず「一緒に建てさせてくれ。」というところから近づいてきました。しかしゼルバベル達はその提案を退けます。なぜだと思いますか。
2. 断られた敵達は、再建反対運動を起こしました。その結果、働きは中断されます。あなたには同じような経験がありますか。また何か働きに障害があった時にはどう対処しますか。

22日(金) エズラ記 5章

1. ハガイとゼカリヤ2人の預言者のことばによって、中断された工事は再開します。このことから預言的ミニストリーの力や性格を発見してみましょう。
2. 再開された工事を中止させる為に再びタテナイたちが挑んできます。しかし、彼らはすぐにはやめませんでした。そして今度は中止命令の再確認を要求しました。あなたは少しの問題でひるんでしまうときがありますか。神の計画を確認してみましょう。
3. この世の法律も神は用いる事があります。人のおどしや意味不明の慣習に対して、この世の法律によって正統的な主張をしていますか。それともただ周囲に合わせているだけではありませんか。

23日(土) エズラ記 6章

1. 敵達によるダリヨス王への打診の結果、彼らはイスラエルへの費用負担、物資の提供、そして祝福を与えることが定められてしまいます。このように迫害から祝福を勝ち取るパターンを覚えておき、実践してみましょう。どんな事ができますか。
2. 預言通りに神殿は完成します。このときの神と民の気持ちを考えましょう。あなたはここからどんな励ましを受けますか。